

## 記者発表資料

**i-Constructionの取組をリードする  
i-Constructionモデル事務所を追加決定！**  
～i-Constructionの推進に向け、3次元データやICT等の導入を加速化～

### ○i-Constructionモデル事務所の決定 荒川調節池工事事務所 荒川第二・三調節池事業

国土交通省では、Society 5.0の実現に向け、測量・調査から、設計、施工、維持管理に至るまで、建設生産・管理システム全体における3次元データの活用やICT等の新技術の導入を加速化します。

新型コロナウイルス感染症発生を契機とした非接触・リモート型の働き方への転換や抜本的な生産性・安全性の向上を図るためには、インフラ分野のDXを強力に推進するとともに、i-Constructionの取組の地方公共団体や地域の建設業界への更なる普及拡大が必要となることから、i-Constructionをより一層促進し、令和5年度までに小規模を除く全ての公共工事についてBIM/CIM活用への原則適用という全国目標に向け、3次元データ等を活用した取組をリードする国土交通省直轄事業を実施するi-Constructionモデル事務所を追加決定しました。

関東地方整備局では、i-Constructionモデル事務所の認定式を下記により執り行いますのでお知らせいたします。

#### 記

1. 日時  
令和3年2月24日(水) 15:30～
2. 場所  
さいたま新都心合同庁舎2号館 17階 特別会議室
3. 認定事務所  
荒川調節池工事事務所

### 記者発表クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

### 問合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 企画部

技術管理課課長 あらい みつる 荒井 満 (TEL:048-601-3151 内線3311)

技術管理課課長補佐 まえだ こういち 前田 浩一 (TEL:048-601-3151 内線3315)

## モデル事務所等の主な事務

### 1. 「i-Construction モデル事務所（モデル事務所）」

#### 1) 3次元情報活用モデル事業の実施

集中的、継続的に BIM/CIM を活用し、事業全体を統合モデルで管理する、3次元情報活用モデル事業を1事業実施する。実施に当たっては、可能な限り建設生産・管理システムの上流段階から BIM/CIM を活用できるよう考慮するとともに、ECI 方式等の、コンカレントエンジニアリングに資する契約方式を検討する。

また、3次元情報活用モデル事業の実施にあたっては、原則、発注者指定型として発注する。

#### 2) 発注者指定型による3次元データ活用事業の実施

1) で実施する3次元情報活用モデル事業のほか、3次元データの活用が効果的であると判断した事業において、発注者指定型による業務発注を実施する。

#### 3) 3次元データの活用を前提とした事業プロセスの改善

1) 及び2) で実施した3次元データ活用事業において、3次元データを活用する場合の効果をフォローアップするとともに、前段階で決定しておくことで各段階の効率化に資する項目について抽出し、その他の事業におけるフロントローディングに向けた整理及び業務改善を行う。このほか、BIM/CIM モデルを活用した積算業務のシミュレーション、工事施工段階における受発注者間のデータ利用など、3次元データを活用した業務の効率化に向けた取組を行う。

なお、モデル事務所は、下記2. 「i-Construction サポート事務所」の事務を兼務するものとする。

### 2. 「i-Construction サポート事務所（サポート事務所）」

#### 1) 地方公共団体等に向けた3次元データ活用に関する相談窓口及び支援

地域における3次元データ利活用の振興を図るため、各都道府県における地方公共団体や建設業者、建設関連業者等からの、土木分野における3次元データの利活用に関する問合せに対応する相談窓口を設置する。また、地方公共団体におけるICT施工の更なる取組拡大やICTの利活用促進に向けて、地域発注者協議会をはじめとする地方公共団体が参画する会議等において、直轄工事におけるICT活用工事の事例を紹介したり、ICTを活用する直轄工事の現場見学会を企画したりすることなど、地方整備局等の本局等とも協力しながら地方公共団体等の取組を支援する。

#### 2) 3次元データスペシャリストの育成

1) の相談窓口を設置するにあたり、3次元データの利活用に関する高度な知見を有する職員を育成し、職員の継続的な学習を支援する。また、事務所が継続的に相談窓口として機能するよう、職員個人の育成に終始しないよう留意する。

なお、職員の継続学習にあたっては、国土交通大学校における発注者向け研修や、関東地方整備局におけるBIM/CIM研修等の場を活用すること。

## i-Construction モデル事務所

〔各ブロックに  
1事務所以上〕

### ○ブロック内で先進的な取組を実施

- 各ブロック内のi-Constructionに関するリーディング事務所として取組推進
- 直轄工事において、3次元情報活用モデル事業を実施 等



### ○各都道府県内の取組をサポート

- 現場見学会の開催
- 研修の企画・運営(本局・研修所と連携)
- 地方自治体におけるICTの活用支援
- 相談窓口(各都道府県内の窓口) 等



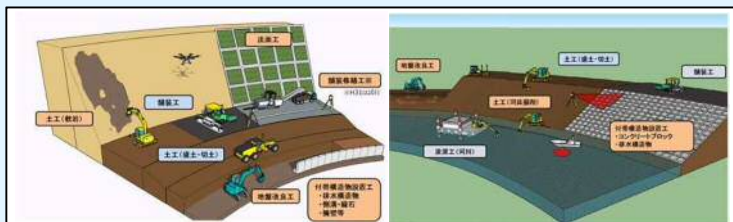
現場見学会の状況

## i-Construction サポート事務所

〔各都道府県に  
1事務所以上〕

### ○直轄工事での取組推進

- 直轄工事でICT-FULL活用工事を実施
- 積極的な3次元データの活用 等



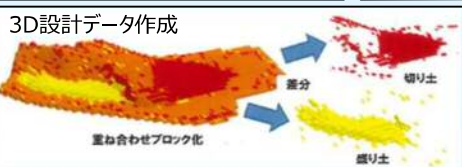
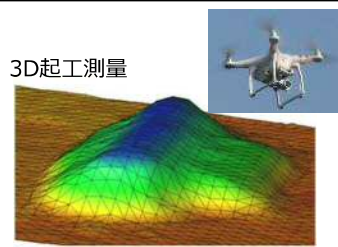
ICT-Full活用工事の例



研修会・講習会の開催



## その他の 直轄事務所



地方自治体や地元業者等へ  
i-Constructionの普及拡大

直轄工事において  
ICTの全面的な活用を推進

# モデル事務所・サポート事務所について〔関東地方整備局〕

● **モデル事務所**

● サポート事務所  
(モデル事務所を含む)

● **今回追加事務所: 荒川調節池**  
(モデル事務所として追加)

